

根管治療の成功と失敗を考える レーザーを生かしたエンドンティクスコース

エンド治療で諦める限界はどこですか？何が原因か見極め歯内療法にレーザーの活用すればもっと歯は残せる！歯内療法専門医が考えるレーザーの歯内療法への活用と有効な治療法1本の歯にこだわる治療のススメ。



天然歯に勝る物はありません。浸出液が止まらない、出血がコントロールできない為に抜歯に、また歯根破折は即抜歯でしょうか？その前にできる事を試してみませんか？諦めていた歯根が残せるかもしれない、知らないや損する情報満載。今回、歯内療法専門医として根管治療専門歯科医院を経営され日々、紹介で来院される様々な根管難治症例に取り組まれている橋爪英城先生がいかに歯を残す事を考えて治療に取り組まれているか、残すためにどう言う取り組みをしているのか、どのような治療計画を立てているか。そして歯を残すためにレーザーがなぜ必要なのか、どのように使うのかをテーマにお話させていただきます。

日時 2019年10月6日(日)

13:00~16:00

会場 TKP渋谷カンファレンスセンター 7A

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-17-3 渋谷東宝ビル7F
TEL: 03-5778-2700

定員 20名 **受講料** 5,000円(税込)

※お申し込みは、先着順とさせていただきますので定員となり次第、締め切らせていただきます。
※ご入金をもちまして正式お申し込みとさせていただきます。
なお、ご入金後の返金には応じかねますのであらかじめご了承ください。

講師 橋爪英城先生



<略歴>

1989年 日本大学松戸歯学部卒業
1993年 日本大学大学院松戸歯学部終了 博士(歯学)
1993年 日本大学助手
1996年 日本大学海外派遣研究員
Thomas Jefferson University(Philadelphia PA USA)
Roche Bioscience(Palo Alto CA USA)
2007年 日本大学松戸歯学部専任講師
2010年 日本大学松戸歯学部兼任講師
2010年 Nobu Dental Office 根管治療専門医
2012年 Team東京 橋爪エンドンティクスデンタルオフィス開設

内容

- ◆根管治療失敗の原因
 - 解剖学的複雑性
 - 不適切な根管拡大
 - 医原性疾患(穿孔・器具破折)
 - コロナルレストレーション
- ◆根管治療を成功に導くために
 - 適切な準備
 - 拡大視野の利用
 - NiTiファイルの適切使用
 - トラブルシューティング
 - ファイバーポストコアによる適切なコロナルレストレーション
- ◆感染根管治療時
 - 滲出液の抑制
 - 根管内殺菌
- ◆パーフォレーションリペア根管内出血への対処
 - 術式と考え方
 - 出血への対応
 - 不良肉芽処置
 - 材料の選択
 - 根充のタイミング
- ◆破折ファイルへの対処
- ◆破折根管への対応
 - 破折根管の種類
 - 術式と考え方
- ◆残根の軟化象牙質への対処

<主催>ササキ株式会社首都圏・神奈川ブロック <協賛>インサイシブジャパン株式会社 <お問合せ先>インサイシブジャパン株式会社(担当:廣瀬)TEL:03-6715-6133

☆下記お申し込み用紙に必要事項をご記入の上、
営業担当者にお渡しいただくかFAXにてお申し込み下さい。

FAX お申込先 03-6715-6137
[インサイシブジャパン株式会社]

2019年10月6日橋爪英城レーザーエンドコース参加お申込書

お名前	フリガナ	貴医院名	フリガナ
ご住所			
TEL		FAX	